

令和2年度

租税教育実践発表会資料



石巻市立渡波小学校
教諭 佐々木 大樹

1 はじめに

税は、私たちの暮らしや社会に欠かせない多様な公共サービスを提供する国や地方公共団体の活動の財源であり、国の様々な制度の中でも根幹的なものである。次代を担う児童たちが国の基本である税の役割や意義を正しく理解し、主体的に税について考えを深めることは非常に重要なことだと考える。

これまで児童たちは、社会科の歴史分野で「租・庸・調」の税の納め方を学んでいるが、税を納めることが「大変で厳しい」「辛い」といったマイナスの印象をもっていると感じた。

児童たちが住む石巻市の震災復興や、児童たちの身近にある学校や教科書、公園や道路などの当たり前前の環境も税金がなくては成り立たないものであるが、児童たちは税と自分たちの暮らしが密接に関係していることに気付いていない。

今回の学習を通して、自分たちの暮らしと税金との関わりについて関心をもち、税の大切さ、必要性について考えていけるようにしたい。

2 児童の実態

本学年は、男子22名、女子25名の合計47名の児童が在籍している。事前に税に関する質問を行い、以下のような結果となった。

(1) 「税」と聞いてどんなイメージを持ちますか。

- ・税金 ・大変 ・面倒くさい ・辛い ・国のために使われるお金 ・お金 ・消費税
- ・所得税 ・10% ・住民税 ・公務員 ・大切なもの ・国会議員 ・納税の義務
- ・払わないといけないもの ・分からない

(2) 「税」の種類で知っているものは何ですか。

- ・消費税 ・所得税 ・住民税 ・たばこ税 ・自動車税 ・酒税 ・分からない

(3) 税金はどこに納められていると思いますか。

- ・国会 ・政府 ・国 ・役場 ・市役所 ・財務省 ・国の中心 ・分からない

(4) 税金は何に使われていると思いますか。

- ・国民のため ・みんなのため ・先生の給料 ・公務員の給料 ・被災地 ・道路
- ・公民館 ・学校 ・遊具 ・図書館 ・分からない

(5) 税金は必要だと思いますか。

- ・必要(多数) ・不必要(数名) ・分からない(小数)

(6) 税について知りたいことはありますか。

- ・税ってなんですか。 ・税金は何に使われているのか。 ・税金を減らせないのですか。
- ・誰がどのように税金を使うか決めているのですか。 ・税はどうしても必要なのか。
- ・税はいつからたくさん払うのか。 ・税の種類を知りたい。
- ・1年間にどのくらいのお金が使われるのか。 など

3 指導にあたって

児童の実態から、以下のことに留意して学習を進めていきたい。

○税金が国民生活の向上と安定に使われていることを理解できるようにする。

○税が児童たちの暮らしにとって大切な役割を果たしていることを考えられるようにする。

4 社会科との関連

(1) わたしたちの生活と政治

○子育て支援の願いを実現する政治

・税金の働き

○震災復興の願いを実現する政治

・補正予算

(2) 日本の歴史

○天皇中心の国づくり

・律令, 租・庸・調

○戦国の世から天下統一へ

・検地, 年貢

○江戸時代と政治の安定

・百姓一揆

○明治の国づくりを進めた人々

・地租改正

5 指導計画（1時間扱い）

時間	学習内容
時間外	「税に関する質問」 ・税に関する質問を児童に行い、児童の意識を確認する。
1	「租税教室」 ・外部講師による租税教室を通して、税が自分たちの生活に密接に関わっていることや、税の必要性についてまとめる。
時間外	「税について理解を深めよう」 ・租税教室で学習した内容の確認を行い、自分たちの生活と関連させながら税と自分たちの生活が密接に関わっていることを理解する。

6 実践内容【租税教室】


(1) 目標

自分たちの生活と税が密接に関わっていることを知り、税の必要性について理解する。

(2) 実施期日：令和2年10月13日（火）

(3) 対象：石巻市立渡波小学校 第6学年 男子22名 女子25名 計47名

(4) 本時の展開

	学習活動と児童の反応	学習の様子
導入	<p>1 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>自分たちの生活と税金のかかわりを考えよう。</p> </div> <p>2 外部講師の紹介 ○石巻税務署の説明</p>	
本時	<p>3 外部講師の説明を聞き、税金について考える。</p> <p>○「税金」のイメージを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あまりいいイメージがない。 ・将来お金を払うのは嫌だ。 <p>○税金の種類について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・50種類以上あるんだ。 ・消費税や所得税以外にもあるんだ。 <p>○税金はどこに納められているのかを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国税, 地方税…いろいろな種類があるんだ。 <p>○クイズ形式で税金は誰が納めているものなのかを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大人になったら…。 ・みんなが納めているんだ…。 ・いろいろな場面で税金が支払われているんだ。 <p>○税金は何に使われているのかを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校や教科書にも税金が使われているんだ。 ・道路や市役所, 警察署など多くの物に税金が使われていることが分かった。 <p>4 DVDを視聴し、税の必要性について考える。</p> <p>○「マリンとヤマト不思議な日曜日」を視聴し、税金がなくなってしまうと、どのように困るのかを考える。</p>	   

	<ul style="list-style-type: none"> ・税金がなくなると当たり前の生活がなくなってしまう。 ・生活がしにくくなるなあ。 ・道路も自由に通れなくなるんだ。 ・税金って大事ななあ。 <p>○1億円の重さを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すごく重たいなあ。 ・大切に使わないといけないね。 	
ま と め	<p>5 学習のまとめをし、振り返りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・税金はなくてはならないものだと思った。 ・税金は必要だ。 ・税金はみんなの生活を豊かにしてくれる。 	

7 租税教室の振り返りカードから

租税教室の授業を受けて分かったことや感じたことを書きましょう。

学校にかかる税金などどのくらいかかるのかわからなかったため、

税金はどのくらい大切かがわかった。

税金は50種類もあることがわかりました。

税金が社会の役に立っていると分かった。

税金はよりよい社会をつくるのが分かった。

税金がないと大変だということも分かった。

税金があることにより、みんなのくらしを支えている

ことが分かった。

租税教室の授業を受けて分かったことや感じたことを書きましょう。

•税金がなくなると暮らしが苦しくなると分かりました。

生活はみんなで助け合っていることが分かりました。

税金は日常に大切な物だと分かりました。

いろいろな物に税金が使われているのが分かりました。

税金は、国民が出しているのは分かっていたけ

ど税金が50種類近くあることや、建物

につかっていることが分かったし、税金がなくなると大

変になることが分かりました。

前まで税金を何のために払っているんだらう？なぜ

税金を払わなさいといけないうんだらう？とか思っていたんです

けどマリンヒヤまのアニメを見て税金がどれだけ

大切なのが分かりました。税金がなくなると引っこさ

なきゃいけなくなったり公園などもなくなってしまう

ので大切ななと思いました。

8 まとめ

- 租税教室（ゲストティーチャーによる出前教室）を行うことによって、児童たちが税に対して興味・関心を高めることができ、大変効果的であった。
- 専門的な知識や情報の提供で、「分かった」、「もっと知りたい」という意欲をもつことができた。今後も機会を見つけ、継続的に指導していきたい。
- パワーポイントを活用し、クイズ形式の質問などを児童に行うことで、税金が何に使われているのか、税金の役割や種類について正しく理解し、税と自分たちの暮らしが密接に関係していることに気付くことができた。
- DVD「マリンとヤマト不思議な日曜日」の視聴を通して、税金がなくなった時の生活が不便になること知り、改めて税金が私たちの暮らしを支えていることを理解することができた。
- 税金に対して、漠然とし必要感が無かった児童たちも、租税教室後には47名全員が、「税金は必要だと思いますか」の質問に対して「必要」だと挙手した。
- 1億円のレプリカを全員が重さを体感することによって、お金の大切さや税金の使い道についても考えるきっかけとなった。
- 最後に児童とともに分かりやすく丁寧に税の役割や必要性について、貴重な学習の機会をいただけたことに感謝したい。
- 石巻税務署の職員の皆様、講師の先生方ありがとうございました。